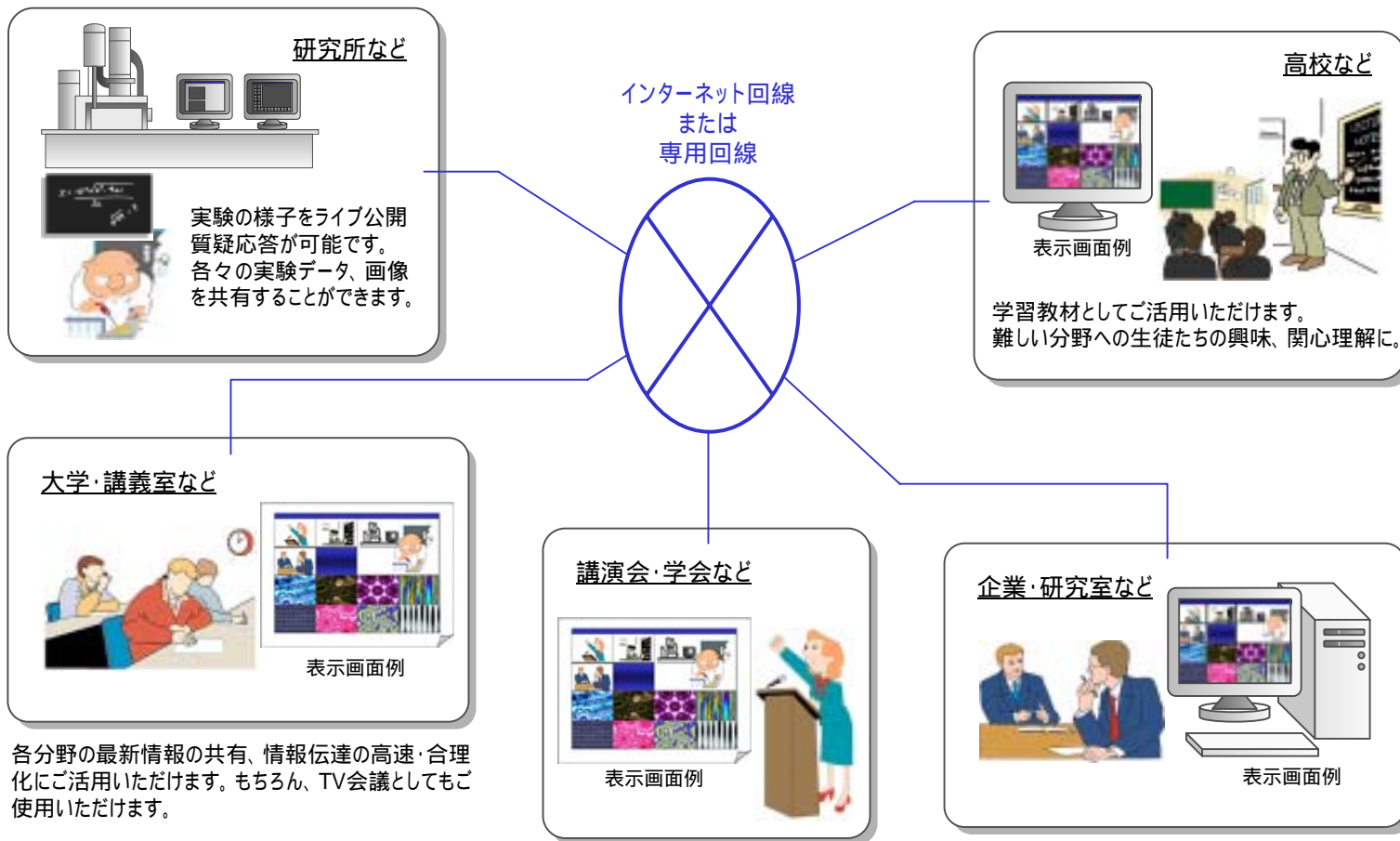


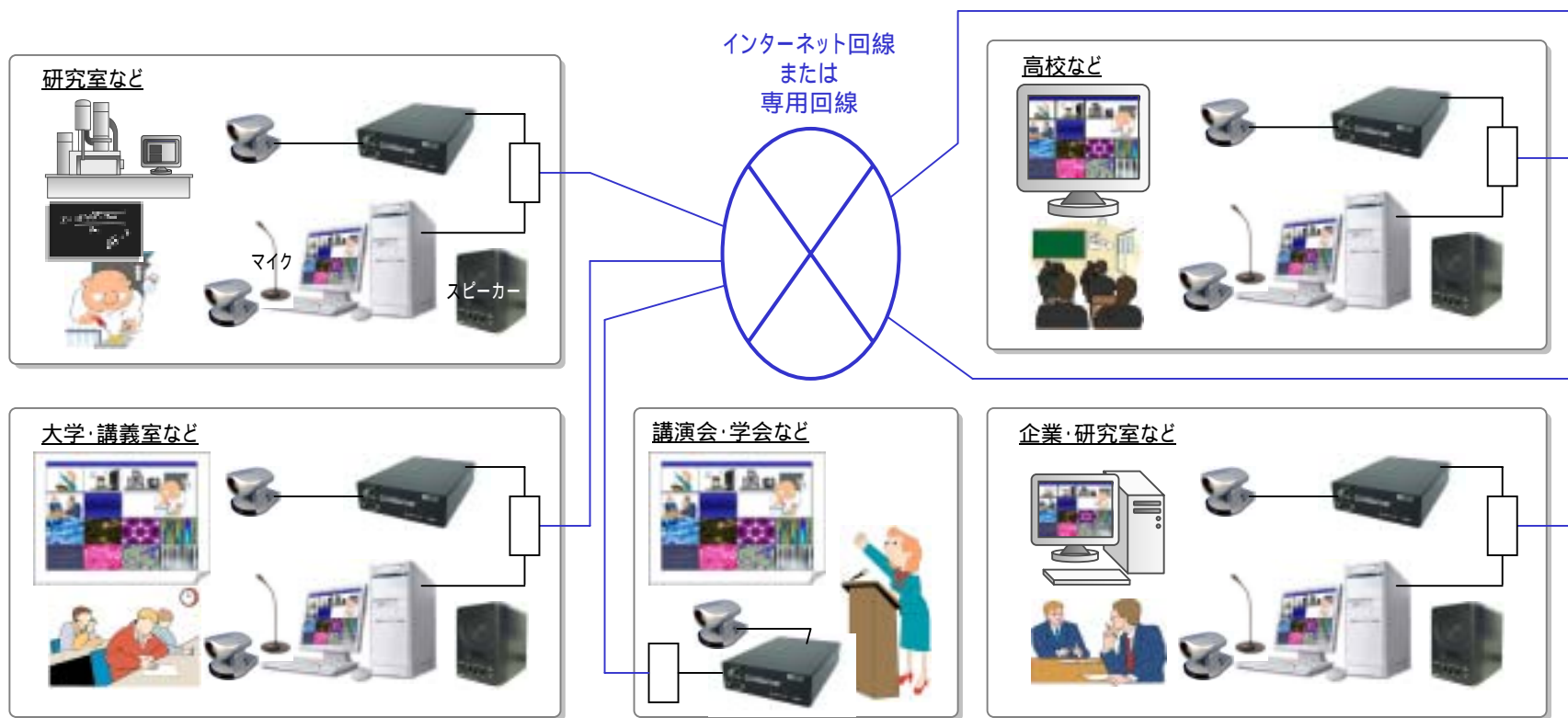
ライブ遠隔授業システム（多地点間で映像・音声双方向）

リアルタイムの映像と音声で遠隔授業が実現できます。



[ご注意]
ここに掲載するL Sボックスの応用事例は、既に実施中のもの、提案をしたが実現に至らなかったものなどを含めてユーザー各位がL Sボックスの応用を検討するヒントになればと掲載するものです。動作を保証するものではなく、またこれにより実施権を与えるものではありません。

- * インターネット回線や専用回線を使用して、他校間、提携学校間の共同講義、文化交流等をライブ中継で行えます。
- * 独自の圧縮方式：KAMは、MPEG等一般的な画像圧縮技術に比べてデータサイズが大幅に小さく、ファイル転送時の回線負担も軽減できます。また、映像の再生には専用の表示ソフトが必要ですが、セキュリティー面の強化にも役立ちます。
- * 2台の「LsBox」で通信することで映像・音声共に双方向で通話が可能となります。
- * 基本操作はパソコンで行うため、録画した映像の必要な場面をすぐに再生、確認することも可能です。
また、録画ファイルはパソコンに保存されるので、ファイルのバックアップを大容量のメディア（DVDなど）にすることで簡単にライブラリー化が可能です。



これは基本的なシステムであり、ニーズ合わせたカスタマイズが可能です。